

福島県南海域における抱卵イセエビの捕獲記録 (短報)

渡邊昌人・佐藤美智男

Catch Record of Japanese Spiny Lobster Holding Eggs on the South Coast of Fukushima (Short Paper)
Masato Watanabe, Michio Sato

2000 年 10 月、福島県南海域におけるさし網調査で抱卵したイセエビ (*Panulirus japonicus*) が捕獲された。過去における福島県水産試験場の調査や漁業者等からの報告に、抱卵したイセエビの捕獲記録はなかった。捕獲記録は表 1 に示す。イセエビの産卵期は春から夏で産卵水温は 22 ~ 26 °C、千葉、神奈川の産卵期は 5 ~ 9 月で盛期は 6 ~ 8 月と報告されている^{1,2)}。このことから、今回捕獲されたイセエビの抱卵は、両県の産卵期よりいくらか遅れていた。

なお、イセエビはふ化後、約 1 年の浮遊生活をした後にプエルルス (puerulus) と呼ばれる透明な幼生に変態して底生生活に移ることから³⁾、形態および体色が成体と同様な稚エビは発生から 1 年以上を経過している。従って、前回に報告したイセエビ (稚エビ) は 1998 年生まれであると思われる。

表1 イセエビの捕獲記録

項目	内容
捕獲年月日	: 2000年10月4日
捕獲場所	: 福島県いわき市小浜港沖、水深25m
捕獲船名	: 福島県水産試験場所属拓水
漁法	: さし網 (3.8寸)
体長	: 238mm
体重	: 359g



図1 抱卵中のイセエビ

文 献

- 1) 多紀保彦他：食材魚貝大百科 (エビ・カニ類、魚類)、第 1 巻、平凡社、東京、1999、26pp.
- 2) 水生生物生態資料：(社) 日本水産資源保護協会 (1981).
- 3) 阿部宗明・本間昭郎：現代おさかな事典 漁場から食卓まで MODERN ENCYCLOPEDIA OF FISH、株式会社エヌ・ティー・エス、東京、1997、726pp.